

平成26年10月21日

各 位

上場会社名	株式会社ドリコム
代表者	代表取締役社長 内藤 裕紀
(コード番号)	3793)
問合せ先責任者	経営管理本部長 後藤 英紀
(TEL)	03 - 6682 - 5700)

第2四半期会計期間連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成26年7月30日に公表いたしました平成27年3月期第2四半期連結会計期間の連結業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期第2四半期会計期間連結業績予想の修正（平成26年7月1日～平成26年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,700	0	0	0	0.00
今回修正予想 (B)	1,895	173	168	93	6.86
増減額 (B - A)	195	173	168	93	
増減率 (%)	11.5	-	-	-	
第2四半期累計期間見込値	3,877	284	274	185	13.66
(ご参考)					
前期第2四半期累計期間実績 (平成26年3月期第2四半期)	3,547	△289	△300	△182	△1,329.10

(注) 前期第2四半期累計期間実績につきましては、連結財務諸表を作成していないため単体決算の実績を記載しております。

2. 連結業績予想の修正理由について

第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日～平成26年9月30日）におきましては、3月並びに5月にリリースした他社配信のアニメ版權ゲームが好調に推移しました。ブラウザゲームなど、既存ゲームの漸減傾向は続くものの、その減少ペースは想定範囲内にとどまり、総じての売上高は前回予想を上回る見通しとなりました。

利益面においては、他社配信のアニメ版權ゲームは、配信社から一定比率の売上分配を得るかたちとなっているため、他の当社配信ゲームに比べると支払手数料など売上高に連動するコストが小さく、その売上上振れの利益への影響は大きくなります。また、新規アプリの品質向上にむけた開発工程の見直しに伴うリリースを延期した結果、プロモーションに伴う広告宣伝費などのコスト発生が第3四半期以降となったことも当該期間の利益面にプラスに作用しており、営業利益、経常利益、四半期純利益が前回予想を上回る見通しとなりました。

以 上